

貸借対照表

Laline JAPAN株式会社

2025年 2月 28日

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	【 708,995 】	【 流 動 負 債 】	【 113,820 】
現 金 及 び 預 金	134,649	買 掛 金	4,849
売 掛 金	93,146	未 払 金	29,919
商 品	474,221	未 払 費 用	50,344
前 払 費 用	3,656	未 払 法 人 税 等	1,839
未 収 入 金	17	未 払 消 費 税 等	0
未 収 消 費 税 等	3,880	預 り 金	1,992
立 替 金	25	仮 受 金	361
仮 払 金	298	賞 与 引 当 金	21,051
貸 倒 引 当 金	△ 900	資 産 除 去 債 務	3,462
		【 固 定 負 債 】	【 2,466,728 】
		長 期 借 入 金	2,393,000
【 固 定 資 産 合 計 】	【 304,541 】	資 産 除 去 債 務	72,898
( 有 形 固 定 資 産 )	( 92,567 )	繰 延 税 金 負 債 固 定	830
建 物	65,576	負 債 合 計	2,580,549
工 具 器 具 及 び 備 品	26,144		
建 設 仮 勘 定	846	【 株 主 資 本 合 計 】	△ 1,567,012
( 無 形 固 定 資 産 )	( 0 )	( 資 本 金 )	7,000
ソ フ ト ウ エ ア	0	( 利 益 剰 余 金 )	△ 1,574,012
( 投 資 そ の 他 資 産 )	( 211,974 )	そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 1,574,012
敷 金 保 証 金	210,350	繰 越 利 益 剰 余 金	△ 1,574,012
長 期 前 払 費 用	126		
前 払 年 金 費 用	1,496	純 資 産 合 計	△ 1,567,012
資 産 合 計	1,013,537	負 債 純 資 産 合 計	1,013,537

重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法
- 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- 商品 ..... 売価還元法による原価法
2. 固定資産の減価償却の方法
- (1) 有形固定資産 ..... 主として定率法
- ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び
- 構築物については定額法
- (2) 無形固定資産 ..... 定額法
- (3) 長期前払費用 ..... 均等償却
3. 引当金の計上基準
- (1) 貸倒引当金の計上基準
- 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。
- (2) 賞与引当金の計上基準
- 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しています。
4. 収益及び費用の計上基準
- 商品の販売について、小売事業においては、商品の引渡時点において顧客が当該商品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断していることから、引渡時点で収益を認識しています。
- また、卸売及びEC事業においては、商品の支配が顧客に移転するまでの期間が通常の間であるため、出荷時点で収益を認識しています。
5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
- 消費税等の処理方法
- 消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

当期純損益金額

第15期(2024年3月1日から2025年2月28日まで)の当期純損失は18,239千円であります。